


記念事業実施報告書

No.1

事業名称	入間市駅の独自発車メロディー
実施時期	平成28年4月16日
実施場所	西武池袋線 入間市駅
担当部署	企画部企画課
実施内容	<p>【概要】 西武池袋線 入間市駅の発車メロディーを独自メロディーに変更した事業である。 曲は、入間市が狭山茶の主産地であることを連想するようなメロディーであり、多くの方に馴染みのある文部省唱歌の「茶つみ」とした。</p> <p>【使用場所】 西武池袋線 入間市駅 2・3番ホーム（下りホーム） 4・5番ホーム（上りホーム）</p> <p>【使用期間】 平成28年4月16日 始発電車から 平成29年7月31日 まで</p> <p>【使用曲目】 文部省唱歌「茶つみ」 下り線ホーム・・・最初の部分（♪夏も近づく八十八夜） 上り線ホーム・・・最後の部分（♪あかねだすきに菅の笠）</p> <p>【音源提供者】 杉山勝彦 氏（入間市出身の音楽アーティスト・USAGIのギタリスト）</p> <p>【記念セレモニー】 4月16日 午前10時から入間市駅南口前において実施</p>
参加者等	—
事業実施により得られた効果	<p>狭山茶の主産地である入間市を連想するようなメロディー「茶つみ」を採用することにより、入間市らしさを演出することができ、市民の親しみと愛着が増したと考える。</p> <p>また、記念セレモニーがNHKのニュースに取り上げられ、市外に対し狭山茶の主産地である入間市をイメージ付け、知名度の向上にも貢献することができた。</p>
実施状況画像	

記念事業実施報告書

No.2-1

事業名称	NHK公開番組「新・BS日本のうた」
実施時期	平成28年5月26日
実施場所	入間市市民会館
担当部署	企画部広報広聴課
実施内容	<p>市制施行50周年を迎えるにあたり、この節目の年を市民の皆様とともに祝うため、NHKが実施する全国放送公開番組を招致し、市・市振興公社・NHKさいたま放送局の共同主催事業として開催した。</p> <p>【番組名】 「新・BS日本のうた」〈NHK-BSプレミアム〉 【開催日】 平成28年5月26日 午後6時開場、6時40分開演、8時50分終演 【放送日】 平成28年6月19日 午後7時30分～9時00分 【出演者】 市川由紀乃、岩佐美咲、岩出和也、臼澤みさき、香西かおり、伍代夏子、田川寿美、天童よしみ、長山洋子、美川憲一、森昌子、山本譲二 ※ 地元出演者として入間向陽高校ソングリーダー部が出演し、オープニングやエンディングの他、香西かおりや美川憲一・森昌子のバックダンサーとして会場を盛り上げた。</p> <p>【応募】 NHK公開番組「新・BS日本のうた」の公開録画のお知らせを4月1日号広報いるまで募集を行い、前回、市制施行45周年「ごきげん歌謡笑劇団」の12倍を上回る約16倍の6,900通の応募があった。 抽選の結果、入間市民424人、埼玉県市外在住者162人、埼玉県外270人の計856人が当選となった。</p>
参加者等	来場者数：821人
事業実施により得られた効果	<p>NHK公開番組「新・BS日本のうた」の公開録画及びBSによる全国放送を実施できたことにより、番組を視聴した多く国民に入間市の市制施行50周年をアピールすることができ、シティセールスにも繋がった。</p> <p>※ 視聴率についてNHKさいたま放送局の担当者に確認をしたところ公開していないとのこと。NHK放送文化研究所がホームページで公開している「全国個人視聴率調査」では「新・日本のうた」は平成27年11月の結果では0.8%、平成27年6月では1.5%、平成26年11月では1.8%となっており、今回も1%前後の視聴率と考えられる。</p>
実施状況画像	


記念事業実施報告書

No.2-2

事業名称	夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会
実施時期	平成28年7月29日
実施場所	彩の森入間公園（芝生広場）
担当部署	生涯学習部体育課
実施内容	<p>夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会は全国的な放送で話題性があり、また、放送を通じて元気な入間市をアピールすることが期待できることから、市制施行50周年記念事業として、主催者である㈱かんぼ生命保険に招致要請を行い、入間市での開催が決定したものである。当日は、晴天（気温22℃、風速0.8m/s）のもと日頃から市民の憩いの場として親しまれている芝生広場で、幼児から高齢者まで幅広い年齢層の方々がラジオ体操を行い、大盛況のうちに終了できた。</p> <p>【開催日】 平成28年7月29日 【会場】 彩の森入間公園（芝生広場） 【主催】 ㈱かんぼ生命保険、NHK、NPO法人全国ラジオ体操連盟 【共催】 入間市、入間市教育委員会 【後援】 入間市体育協会、入間市スポーツ推進委員協議会、入間市内郵便局</p> <p>【当日の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前6時から 開会式及びリハーサル ・午前6時30分から午前6時40分 NHK第1放送により全国放送 ・午前6時43分から ラジオ体操のポイントレッスン
参加者等	参加者：約2,300人、協カスタッフ：93人（職員スタッフ：53人、スポーツ推進委員：40人）
事業実施により得られた効果	<p>夏期巡回ラジオ体操会は、平成10年の8月に彩の森入間公園竣工記念として開催され、翌年以降は、誰もが気軽にできるラジオ体操を通じて、市民の健康と体力向上と共に、スポーツに親しみ実践する市民を増やすことを目的に、「集まれ！入間市ラジオ体操会」を8月の第1週の日曜日に開催している。今回、市制施行50周年記念事業として再度、夏期巡回ラジオ体操会を開催したことにより、市民が更にラジオ体操に取り組むきっかけづくりの場になったと共に、健康な体づくりに対する意識向上が醸成できた。</p>
実施状況画像	 <p>The images show the event from multiple perspectives: a host on a stage with a microphone, a host performing exercises on a stage, a large crowd of people participating in the radio gymnastics, and a host leading the crowd in a large open field.</p>

記念事業実施報告書

No.3

事業名称	50周年記念「入間みらい議会」
実施時期	平成28年8月7日
実施場所	入間市役所 議場
担当部署	入間市議会
実施内容	<p>未来を担う中学生が市議会の場を体験し、未来の入間市のために中学生自らが入間市政に対する意見や要望並びに将来に託す夢を伝え、市の施策の参考とし、市政の発展に資することを目的に実施した。</p> <p>また、入間市議会では、より開かれた議会を目指しており、次世代を担う中学生に議会に対する理解と、18歳まで選挙権が引き下げられたことによる政治への関心を深めることを目的に実施した。</p> <p>【内 容】</p> <p>①中学生が議会・行政の意義や仕組みについて理解する。 ②中学生の視点で魅力ある入間市を目指して、「未来の住みよい入間市」について考え提案を行う。</p> <p>【次 第】</p> <p>①オープニングセレモニー、②開会のことば、③市議会議長あいさつ ④市長あいさつ、⑤入間みらい議会議員自己紹介、⑥出席者（理事者）の紹介 ⑦入間みらい議会議長の選任、⑧一般質問、⑨教育長講評、⑩閉会のことば</p>
参加者等	中学生議員数：26人 傍聴者数：44人
事業実施により得られた効果	<p>未来を担う中学生が入間市のまちづくりについて考えることで、市政への関心と理解を深めるとともに、議会制度を学ぶ機会となった。</p> <p>また、中学生自身が入間市の将来について考え、議会で質問や提案をすることにより、社会参画への態度や意欲を培う一助となった。</p> <p>さらに、中学生の議場での活動を傍聴してもらうことで、市議会や行政の取組をより身近なものと感じてもらうことができた。</p>
実施状況画像	

記念事業実施報告書

No.4

事業名称	写真で振り返る入間市50年
実施時期	丸広百貨店入間店：平成28年8月31日～9月6日・入間市役所市民ホール：平成28年8月22日～9月5日 入間市役所市民ギャラリー：平成28年8月29日～9月16日・市民会館：平成28年11月5日 入間市博物館：①平成28年8月24日～9月25日・②平成28年9月28日～12月25日
実施場所	丸広百貨店入間店・入間市役所市民ホール・入間市役所市民ギャラリー・入間市博物館 市民会館（市制施行50周年記念式典会場）
担当部署	博物館・都市計画課・入間市駅北口土地区画整理事務所・庶務課・商工課
実施内容	<p>市制施行50周年を記念し、博物館及び市役所で保管している写真や個人撮影の写真を展示し、入間市が歩んできた歴史を振り返る写真展を実施した。展示は平成28年8月から12月にかけて各所で実施した。</p> <p>【丸広百貨店入間店エントランスホール：8月31日～9月6日】 ①入間市50年のあゆみを博物館所蔵の写真を中心に年表的に展示 ②区画整理事業の進捗状況を定点写真で紹介し、「まちづくりのあゆみ」と事業内容の概要を展示 ※ 都市計画課・入間市駅北口土地区画整理事務所も写真等提供</p> <p>【入間市役所市民ホールでの展示：8月22日～9月5日】 入間市が誕生した当時の「まちなすがた」にスポットをあて、市制施行前後のまちな風景を写した写真を展示</p> <p>【入間市役所市民ギャラリー：8月29日～9月16日】 「定点写真」をテーマに、市制施行前後やさらに昔の古い写真に写った市内の景観と、その場所の最近の写真をあわせて展示し、まちな変化を見る</p> <p>【市民会館（市制施行50周年記念式典会場）：平成28年11月5日】 入間市の市制施行記念式典や記念パレードの写真を中心に、市制施行当時の写真を展示</p> <p>【入間市博物館A11Tエントランスホール】 <展示①> 8月24日～9月25日 市制施行の年、昭和41年にスポットをあて、入間市が誕生した日のまちな様子や式典の風景、市制施行前後に撮影されたまちな施設や街並みの写真を展示 <展示②> 9月28日～12月25日 丸広百貨店の展示の縮小版として、市制施行以降のまちな写真を年表的に展示</p>
参加者等	エントランス展示①：8,949人 エントランス展示②：16,783人 ※ エントランス展示期間中の入館者数を基に計算、丸広・市役所の展示は未計測
事業実施により得られた効果	<p>市役所本庁舎や丸広百貨店など、複数の会場で写真展を実施したことにより、市制施行50周年を多くの方に認識していただくとともに、普段、市の歴史に触れることがない幅広い世代の市民に入間市の歩んできた過去を見つめ、未来をつくっていくきっかけを与えることができた。特に丸広百貨店での展示では、来店者の多くが興味深そうに見学している様子が散見された。丸広百貨店により、展示期間中に「いるまんじゅう」の販売等も実施され、まちづくりの展示と併せて、シティセールスにも繋げることができた。</p>
実施状況画像	

記念事業実施報告書

No.5

事業名称	入間市ワンデーマーチ
実施時期	平成28年9月25日
実施場所	彩の森入間公園～入間川遊歩道～旧サイクリングロード～西武市民運動場
担当部署	生涯学習部体育課
実施内容	<p>『入間市の魅力発見！！＝入間を歩き！入間とふれあい！入間を楽しむ！＝』をテーマに、『市民と行政の協働により開催し、多くの市民の参加の下、様々な形で入間市の魅力を市内外に発信することにより、市制施行50周年記念のキャッチフレーズ“今、未来が始まる時。”を实践する』を開催趣旨として実施した。</p> <p>実施に向けては、開催趣旨に則り、市の関連団体から市民委員の選出をいただき、市の関連課職員とで実行委員会を組織し、事業概要の検討から始まり、準備、そして実施までを進めた。</p> <p>当日は、「入間のおもてなし」として、ゴール地点と一部チェックポイントで、飲食の提供・販売やお土産品の販売とお楽しみ抽選会など、参加者に楽しんでもらえるイベントとなった。</p> <p>【コース】</p> <p>①健脚コース（約16.4km） 彩の森入間公園～黒須市民運動場～入間川遊歩道～アミーゴ～農村環境改善センター～よもぎ新道～岩沢運動公園～西武市民運動場</p> <p>②ファミリーコース（約9.6km） 彩の森入間公園～黒須市民運動場～入間川遊歩道～アミーゴ～入間川遊歩道～上橋～西武市民運動場</p>
参加者等	参加者：433人 スタッフ：138人
事業実施により得られた効果	<p>実行委員会で様々なおもてなしイベントを考え実施したことにより、参加者の笑顔あふれる事業となった。また、西武鉄道のウォーキング広報誌への掲載を行ったことで、市外からの参加者もあり、人数は想定より少なかったものの、入間市民と共に楽しく入間川遊歩道や加治丘陵、アミーゴ、桜山展望台などを巡り、入間の風景を感じるシティーセールスにもなった。</p>
実施状況画像	


記念事業実施報告書

No.6

事業名称	大相撲入間場所
実施時期	平成28年10月7日
実施場所	入間市市民体育館
担当部署	商工課（入間ケーブルテレビ）
実施内容	<p>平成28年大相撲入間場所は、入間市では6年ぶり5回目となる。今回、入間ケーブルテレビ株式会社が勸進元となり、大相撲入間場所実行委員会を組織し、各種団体及び機関に協力をいただいで盛大に開催することができた。また、市では当日の運営のため人的支援を行った。</p> <p>当日は、市内外から多くの方が観戦に来られ、横綱白鵬は怪我で欠場したが、横綱日馬富士、鶴竜をはじめ、入間少年相撲クラブ出身の大輝（現在は北勝富士）などの取り組みに大きな声援がおくられた。また、巡業ならではのプログラムも楽しむことができ、「ちびっこ力士と人気力士の取組」では、わんぱく相撲で活躍した市内小学校の男子児童が出場し、その奮闘ぶりに会場も盛り上がった。本物の力士との相撲は、子どもたちにとって貴重な体験となった。</p> <p>【過去の開催日】 平成 8年4月11日(水) 平成10年4月14日(火)・15日(水) 平成13年4月12日(木) 平成22年4月18日(日)</p>
参加者等	観覧者等：2,500人
事業実施により得られた効果	<p>「相撲のまち いるま」ということで、近年全国に知名度を上げてきている入間市ではあるが、この事業によりさらに市民等に相撲文化の奥深さや面白さを伝えることができた。加えて、就学前の保育園児・小学生と盛んである「わんぱく相撲」全国でも屈指の相撲クラブ、県内外有名高校への市内で育った相撲人材の留学や活躍、春日野部屋稽古等で賑わう大相撲ファンなど、年代を問わず相撲文化の振興に大きな一助となった。</p> <p>市の周年記念事業としても、近隣市の中では入間市だからこそできる祝賀の事業として大変意味深いものであった。</p>
実施状況画像	


記念事業実施報告書

No.7

事業名称	市制施行50周年「入間市勢要覧2016」
実施時期	平成28年11月発行
実施場所	—
担当部署	企画部広報広聴課
実施内容	<p>市制施行50周年を迎えるにあたり、市の発展の現状と魅力を市民に紹介するとともに、入間市を市外、県外へPRする資料として広く活用するため、市勢要覧を作成した。</p> <p>【規格】A4版・44ページ・カラー4色刷り 【部数】4,000部 【構成】タイトル・キャッチフレーズ（表紙）、入間市の概要・市長コメント空撮写真（P1）、イベントカレンダー（P2～5）、万燈まつり（P6～7）、観光大使・シティセールス（P8～11）、加治丘陵・桜山展望台（P12～13）、狭山茶・アリット（P14～15）、西洋館・児童センター（P16～17）、姉妹都市・友好都市（P18～19）総合計画・総合戦略・行革大綱（P20～23）、議会・行政・名誉市民（P24～25）、公共施設マップ（P26～27）、入間市のあゆみ・各地区紹介（P28～31）、入間市の50年・年表（P32～37）、資料編（P38～39）、市民憲章・各宣言・市の歌・空撮写真（P40）、市章・花木鳥（裏表紙）</p> <p>【頒布】記念式典出席者、市役所本庁舎・各支所・各公民館・図書館に配架</p>
参加者等	—
事業実施により得られた効果	<p>市勢要覧を発行したことにより、多くの市民に市制施行50周年を認識してもらうことができた。</p> <p>厳しい財政状況の中、簡素な中にも創意工夫により、「入間市のいま」「これまでとこれから」「入間市らしさ」等が盛り込まれた要覧となっており、入間市の魅力を市内外にアピールすることができ、シティセールスにも繋がった。</p>
実施状況画像	


記念事業実施報告書

No.8

事業名称	タイムカプセル開封・展示事業
実施時期	開封：平成28年11月1日 展示：①平成28年11月5日 ②平成28年11月27日～12月25日 ③平成28年12月23日～平成29年2月14日
実施場所	開封：タイムカプセル特設会場（市役所駐車場） 展示：①入間市市民会館 ②入間市博物館エントランスホール ③入間市博物館特別展示室・市民ギャラリー
担当部署	開封：生涯学習部生涯学習課 展示：生涯学習部博物館
実施内容	<p>【開 封】平成28年7月26日、「21世紀の入間市の繁栄と平和を願って」30年前に埋設されたタイムカプセルを掘り起こし、11月1日に市制施行50周年記念事業として、タイムカプセル開封記念セレモニーを挙行了。セレモニーでは、当時の水村市長、渡辺議長、早川教育長のメッセージを披露した。また、当時小学校6年生でタイムカプセルの中に自分の作品を収めた2名の方にメッセージをいただいた。</p> <p>タイムカプセル収納品には、市民生活を伝えるもの、子ども達の姿を伝えるもの、行政の姿を伝えるものなど78品目の品々が収められていた。</p> <p>【次 第】 ①開会のことば、②市長あいさつ、③来賓祝辞、④来賓紹介、⑤タイムカプセル開封 ⑥メッセージの披露、⑦収納品提供者からのメッセージ、⑧閉会のことば ※ 閉会后、来場者に対して収納品の披露を行った。</p> <p>【展 示】開封されたタイムカプセルの本体及び収納品は市制施行50周年記念式典会場での展示後、殺虫・殺カビのためくん蒸を行った上、入間市博物館エントランスホール及び「むかしのくらしと道具展」にて展示を行った。</p> <p>①市制施行50周年記念式典での展示：平成28年11月5日(土) 会場の一角に特設展示コーナーを設け、開封直後のタイムカプセルと収納品を公開した。</p> <p>②博物館エントランスホールでの展示：平成28年11月27日(日)～12月25日(日) タイムカプセルの収納品（新聞・雑誌・日用品等を展示ケース内に陳列）及び写真パネル等を展示した。</p> <p>③「むかしのくらしと道具展」での展示：平成28年12月23日(金)～平成29年2月14日(火) タイムカプセル開封をうけて、毎年開催されている「むかしのくらしと道具展」内に「30年前のタイムカプセル」コーナーを設け、本体や市長・議長・教育長からの手紙、各分野の収納品や写真等100点以上を展示した。</p>
参加者等	開封：120人 展示：4,409人（エントランス展示期間中の入館者） ※ むかしのくらしと道具展12月分見学者：381人
事業実施により得られた効果	<p>【開 封】30年前の市民が贈ってくれた夢やメッセージに触れることにより、生活、文化、時代の変化を肌で感じた。過去と現在を学ぶ喜びを実感し、未来につながる創造性を育み、世代間交流を図ることができた。</p> <p>【展 示】50周年記念式典の展示では、カプセルの開封直後という事もあり、多くの来場者の方や職員の耳目を集めた。その後実施されたエントランス展示では、「写真で振り返る入間市50年」と併せて展示を行ったことにより、市の歴史と関連付けて、タイムカプセルという「歴史資料」の価値を多くの市民に知っていただくことができた。さらに「むかしのくらしと道具展」では、本年度の道具展のメインテーマ「50・30・20」の一つとして取り上げた事により、社会科見学で来館する市内全小学校の3年生児童やその父母・祖父母、ボランティアスタッフや近隣住民の方など、幅広い世代の方にカプセルの存在を知っていただく事ができた。30年前の市民がタイムカプセルに込めた思いや当時の世相を多くの市民に広めることができた。</p>
実施状況画像	


記念事業実施報告書

No.9

<p>事業名称</p>	<p>入間市制施行50周年記念 入間市・佐渡市姉妹都市提携30周年記念 鼓童 ワン・アース・ツアー 2016 ～螺旋</p>
<p>実施時期</p>	<p>平成28年11月1日 開場18:00 開演18:30</p>
<p>実施場所</p>	<p>入間市市民会館</p>
<p>担当部署</p>	<p>市民部自治文化課（入間市振興公社）</p>
<p>実施内容</p>	<p>市制施行50周年記念事業及び姉妹都市提携30周年記念事業として、姉妹都市佐渡市に活動拠点を置く太鼓芸能集団「鼓童」の公演を実施した。 本事業については、入間市と入間市振興公社との「共催事業」で実施し、市の経費負担はなく、舞台搬入補助などの人的支援として協力をした。 開演前には、入間市長より挨拶を行った。 また、開演前等には、佐渡物産品を販売し、姉妹都市佐渡市をPRした。</p>
<p>参加者等</p>	<p>市内、市外問わず一般観覧者および 姉妹都市ヴォルフラーツハウゼン市訪問団が鑑賞 合計観客数：976人</p>
<p>事業実施により 得られた効果</p>	<p>周年事業の節目に、姉妹都市として共に繁栄の道を行ってきた佐渡市に關与する鼓童のエネルギッシュな舞台を披露することで、観客の心にいつまでも残り愛着を持てるまちづくりの促進に繋がったものとする。 また、公演開始前等には、佐渡物産品も販売し、来場した入間市民だけでなく、より多くの人に入間市と佐渡市が姉妹都市であることを広くPRすることができた。</p>
<p>実施状況画像</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

記念事業実施報告書

No.10

事業名称	入間市制施行50周年記念式典
実施時期	平成28年11月5日
実施場所	入間市市民会館
担当部署	企画部秘書課
実施内容	<p>市制施行50周年という節目の年を市民とともに祝い、市の更なる飛躍を祈念して「入間市制施行50周年記念式典」を挙行了た。</p> <p>記念式典は2部構成とし、第1部では地方自治の発展等に貢献された2名の方に名誉市民の称号並びに名誉市民章を贈呈した。また、市政の発展のため貢献された32名の方に表彰状を贈呈するとともに、市の振興発展に寄与された5名の方と5団体に感謝状を贈呈した。</p> <p>第2部では「振り子をゆらす力」と題して劇団アミーゴwith扇小演劇クラブによる記念公演が行われた。</p> <p>【オープニング】</p> <p>①映像で振り返る入間市50年の上映 ②入間向陽高校ソングリーダー部によるダンス</p> <p>【第1部】</p> <p>①開式のことば、②国歌斉唱、③入間市の歌斉唱、④市長式辞 ⑤市議会議長あいさつ、⑥名誉市民の称号並びに名誉市民章授与 ⑦名誉市民章受章者謝辞、⑧表彰並びに感謝増贈呈、⑨姉妹都市記念品贈呈 ⑩来賓祝辞、⑪来賓紹介、⑫万歳三唱、⑬閉式のことば</p> <p>【第2部】</p> <p>記念公演「振り子をゆらす力」 劇団アミーゴwith扇小演劇クラブwith入間市民吹奏楽団</p>
参加者等	出席者数：840人
事業実施により得られた効果	<p>記念式典を挙行了たことにより、多くの市民に市制施行50周年を認識してもらうことができた。</p> <p>厳しい財政状況の中、簡素な中にも創意工夫により入間市らしさを市内外にアピールすることができ、シティセールスにも繋がった。</p> <p>市政発展のため貢献された功労者や市の振興発展に寄与された方に表彰状等を授与したことで、感謝の意が伝えられ受章者の心にも残った。</p>
実施状況画像	


記念事業実施報告書


No.11

事業名称	入間市制施行50周年記念式典 第2部記念公演
実施時期	平成28年11月5日
実施場所	入間市市民会館
担当部署	市民部自治文化課
実施内容	<p>入間市制施行50周年記念式典の第2部では、「振り子をゆらす力」と題して劇団アミーゴwith扇小学校演劇クラブによる記念公演を行った。</p> <p>この演劇は、特定非営利活動法人入間市文化創造ネットワークが7月から演目の企画、準備、舞台製作、出演者の確保、台本の製作や出演者の取りまとめ、稽古や出演者の確保を行い、実施したものである。</p> <p>【内 容】 記念公演「振り子をゆらす力」 劇団アミーゴwith扇小演劇クラブwith入間市民吹奏楽団</p>
参加者等	出演者及び公演スタッフ数：70人
事業実施により得られた効果	<p>公演は、入間市長、劇団アミーゴ、入間市立扇小学校演劇クラブ、入間市民吹奏楽団、市職員が協力し、時間の病気を治すストーリーの演劇を行った。</p> <p>7月の台本作成から8月の稽古開始、そして11月5日の本番まで、限られた時間で創りあげた作品は、出演者のほか扇小学校演劇クラブの保護者の理解と協力が無ければ実現できなかった。特に稽古で練習不足を感じた児童は、計画した練習日以外にも自ら稽古を行うなど、小学生でありながら向上心を持ち、この事業に真剣に取り組んでいることは、入間市の将来が楽しみである。</p> <p>市民を中心に老若男女が一丸となって演じた舞台は、出演者の努力と演劇を支えるスタッフの協力で成功裏に終わった。</p>
実施状況画像	

記念事業実施報告書

No.12

事業名称	児童・生徒による市制50周年記念創作展
実施時期	①平成28年11月5日 ②平成28年11月8日～12月25日
実施場所	①入間市市民会館（ホワイエ） ②入間市博物館（ホール）
担当部署	教育総務部学校教育課
実施内容	<p>市制施行50周年を記念し、小・中学校の児童・生徒が「入間市の50周年」を学ぶ機会とし、「ふるさと入間を愛する心」を育てることを目的として、作品作りに取り組んでもらった。</p> <p>作品は、128点（小学校95点、中学校33点）集まり、市長・教育長が審査を行い、特に優秀な40点について、市制施行50周年記念式典にて展示した。</p> <p>また、記念式典後に、応募作品のすべてを博物館にて展示した。</p> <p>なお、入選作品については、藤沢公民館及び東町公民館でも展示した。</p>
参加者等	観者：記念式典出席者、作者の保護者等、期間中における博物館来館者
事業実施により得られた効果	<p>作品作りを通して、入間市の将来を担う子ども達が自分の好きな入間市の場所を見つめ直し、未来の入間市を想像したりする機会となったことで、ふるさと入間を愛する心を育てることができた。</p>
実施状況画像	

事業名称	「入間の第九」演奏会
実施時期	平成28年12月18日
実施場所	武蔵野音楽大学入間キャンパス バッハザール
担当部署	生涯学習部中央公民館
実施内容	<p>「入間の第九」演奏会は、入間市制施行50周年を祝うイベントとして、音楽を愛する市民の手による演奏会を開催し、入間市の発展を祈念するとともに、音楽を通して人と人との絆を大切にしたい活力あるまちづくりを目指し実施した。</p> <p>演奏会は、市内の音楽関係者が中心となって実行委員会を組織し、市民が主体となり事業運営にあたった。</p> <p>【演奏内容】</p> <p>① J.S.バッハ：トッカータとフーガ 二短調 BWV565他 パイプオルガン演奏 藤枝照久（武蔵野音楽大学准教授）</p> <p>② L.v.ベートーヴェン：交響曲 第九番二短調（合唱付き）Op.125 演奏 「入間の第九」管弦楽団・合唱団 指揮 水戸博之 氏</p> <p>③ 入場料 1,000円（全席自由）</p>
参加者等	管弦楽団：76人 合唱団：130人
事業実施により得られた効果	<p>「入間の第九」演奏は、事前の関心も高く、当日は1,000名を超える来場者で盛大に開催することができた。アンケート結果にもあったように、来場者の皆様からは、「素晴らしい」「感動した」という感想をたくさん頂き、大変好評であった。</p> <p>「入間の第九」演奏会は、市制施行40周年以来10年振りの開催となったが、演奏会を通して、入間市の豊かな音楽文化を発信することができた。また、市制施行50周年の最後を飾るイベントとして、人々に感動を与え、活力あるまちづくりに貢献できた。</p>
実施状況画像	

記念事業実施報告書

No.14

事業名称	ハローーいるま特別番組「市制施行50周年入間市の春夏秋冬」
実施時期	作成：平成28年4月～ 放映：平成29年2月1日（水）～2月28日 午前10時～10時30分
実施場所	入間ケーブルテレビ「チャンネルあい」
担当部署	企画部広報広聴課
実施内容	<p>市の観光大使・50周年記念PRキャラクターであるいるティーと一緒に、市制施行50周年の1年間に開催された記念事業を振り返る。</p> <p>【番組構成】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 オープニング 2 市制施行50周年PR事業の紹介 3 市制施行50周年記念式典 4 市制施行50周年記念事業・冠事業（春） 《記念事業》入間市駅の独自発車メロディー、「新・BS日本のうた」 《冠事業》八十八夜新茶まつり 5 市制施行50周年記念事業・冠事業（夏） 《記念事業》夏期巡回ラジオ体操、入間みらい議会 写真で振り返る入間市50年 《冠事業》青少年活動センターの愛称決定、わんぱく相撲入間大会 6 市制施行50周年記念事業・冠事業（秋） 《記念事業》ワンデーマーチ、大相撲入間場所 《冠事業》いるまんじゅう新包装で販売、いるま太鼓セッション アリットフェスタ特別展、入間万燈まつり 7 市制施行50周年記念事業・冠事業（冬） 《記念事業》タイムカプセル開封・展示事業、「入間の第九」演奏会 《冠事業》いるま生涯学習フェスティバル、駅伝競走大会 8 エンディング
参加者等	入間ケーブルテレビ加入世帯：34,120世帯（H28.6.1現在）
事業実施により得られた効果	平成27年度に作成した特別番組「写真と映像でたどる入間の50年」と今回作成した特別番組をパッケージとしてまとめ、市内各施設へ貸出用・閲覧用として配付するとともに、市公式ホームページでも番組を視聴できるようにしたことで記念すべき50周年事業を記録として残せ、市内外へ情報を伝えることができた。
実施状況画像	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>ハローーいるま特別番組 市制施行50周年 入間市の春夏秋冬</p> <p>今、未来が始まるとき。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>新しい未来に向かっていくイメージが表現されています。</p> </div> </div>

記念事業実施報告書

市民特別イベント

事業名称	入間市制施行50周年祝賀花火
実施時期	平成28年10月29日 打上げ時間：午後6時45分（30分間）
実施場所	航空自衛隊入間基地内（打上げ場所）
担当部署	【事務局】市民部自治文化課・環境経済部商工課・入間市商工会 【主催】入間市制施行50周年祝賀花火制作委員会
実施内容	<p>市制施行50周年を祝うため、市民有志からの提案により、入間万燈まつりの夜に祝賀花火の打ち上げを実施した。これまでも市制施行30周年、40周年の際にも同様に実行委員会が組織され、祝賀花火を打ち上げている。</p> <p>本事業を実施する祝賀花火制作委員会については、委員長と11名の副委員長等の幹事会、71団体から組織する制作委員会の体制で事業実施を図った。</p> <p>また、自治文化課、商工課、入間市商工会が協賛金の取りまとめや事務局を担当した。</p> <p>事業運営費については、本事業に賛同する多くの市民、団体、事業者の皆様から協賛金・広告宣伝費として多額の協賛金を賜り実施した。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 祝賀花火打上げ数 1,620発 ② 協賛者 414件 ③ 協賛金額 8,075,000円
参加者等	<p>【協賛者】</p> <p>市内外の個人、団体、事業者及び佐渡市職員414件の協賛金の協力があった。 （*佐渡市職員462人からの協賛金は、1件としてカウント）</p>
事業実施により得られた効果	<p>万燈まつり初日の夜に、祝賀花火を打ち上げたことでまつり会場内や隣接地からも多くの市民の方にご覧いただいた。また、彩の森公園内に協賛者観覧席を用意することで協賛者への対応が図れた。</p> <p>市民の力を集結して実施した祝賀花火に対して、多くの方からお褒めの言葉が届いたことから高評価を頂いてたものと感じている。また、市最大のイベントである万燈まつりの開催と共に実施したことで、市制施行50周年を多くの市民と祝うことができ、更に入間市の元気を市内外に発信することができた。</p>
実施状況画像	